

ぼらん津

平成18年8月16日発行
津市ボランティアセンター
津市大門7 15
津市社会福祉協議会内
TEL 059-213-7111
FAX 059-224-6067



津市ボランティアセンターだよりの愛称が決まりました！
“ぼらん津”は市民のみなさまに身近な情報を発信します。
どうぞ、ご活用ください！



支え合える地域づくりを・・・

防災講演会

開催します！



もしも大災害が起きたら
子どもを… 家族を… 地域を… 大切な人を守れますか？

10月1日(日) 13:30~15:30

津市久居総合福祉会館3階ホール
『人と防災未来センター』

語り部 いちはら さとみ 市原 聡美 氏

入場料無料。非常食の支給もあります

平成16年は新潟県中越地震をはじめ、新潟、福井の水害など日本中が災害に襲われた一年となり、三重県でも「9・29豪雨災害」で、旧宮川村や旧海山町を中心に、わが津市でも洪水や土砂崩れが発生し、大きな被害を受けました。

あれから2年...「もしも今大災害が起きたら...」「地域において要援護者の見守りは...」東海・東南海地震がいつ起きてもおかしくない今、阪神・淡路大震災の体験から大切なひとを守るにはどうしたらいいのかみんな考えてみませんか？皆様のご来場お待ちしております。

【問い合わせ】 津市社会福祉協議会
地域福祉課 213-7111

—地域の情報—

津市ボランティアセンターより ボランティア募集のお知らせ

依頼者 知的障害者と市民のつどい
行事名 第8回知的障害者と市民のつどい
(旧津市知的障害者生活交流会)
内容 知的障害者の見守り、ゲーム担当
会場設営及び撤去、売り子
日時 平成18年11月26日(日)
8:30~16:30
集合場所 津市お城西公園(8時)
申し込み期日 平成18年11月15日
その他 昼食は、主催者が用意します。
少雨決行・雨天中止
問い合わせ 電話213-7111

久居ボランティアセンターからのお知らせ

ボランティアスクール ボランティア体験講座生募集 【点訳】

日時: 8月23日(水) 13:30~15:30
会場: 津市久居総合福祉会館 南館2階
対象者: 高校生以上の方
内容: 「六点サークル」による点字の読み方点字の書き方
8月23日以外にも、水曜日の午後体験していただくことができます。事前に連絡してください。
<問い合わせ> 津市社会福祉協議会 久居支部
久居ボランティアセンター 256-1202

河芸ボランティアセンターからのお知らせ

子育てサロン「カームちゃんクラブ」 ボランティア募集

就学前の子どもと親を対象に毎週火・木曜日の午前10時から12時まで、津市河芸町ほほえみセンター内・2F交流室で活動しています。
協力していただけるボランティアさんを募集しています。

<問い合わせ先>
津市社会福祉協議会 河芸支部内
河芸ボランティアセンター
電話 245-8888

芸濃ボランティアセンターからのお知らせ

ボランティア体験講座 【朗読・読み聞かせ】

「おはなしの会こんぺいとう」の協力を得て、子どもたちの前でのお話会、本読み、紙芝居の体験をします。子どもたちの前で読みたい本があれば持参してください。

日時 8月25日(金) 13:00~15:00
場所 津市芸濃総合文化センター内 津市芸濃図書館
対象 高校生以上の方・先着10名まで
(受講証明書をお渡しします。)

問い合わせ・申し込み
芸濃ボランティアセンター
(津市社会福祉協議会 芸濃支部内)
電話 265-4531



安濃ボランティアセンターからのお知らせ

~たのしいおはなしをたくさんのおせて~ おはなし隊がやってきました~す

たくさんのおもしろい児童書を積んで、にぎやかなキャラバンカーがやってきます！キャラバンカー内部には各社発行の児童書を約500冊展示してあり、子どもたちが自由に読むことができます。やまびこ会のおばさんたちと、たくさんのお本が待っています。保護者の方もぜひ一緒に！おともだちと、ひとりでも、たくさんきてくださいね！

とき 9月17日(日)午前10:00~11:10
ところ 津市安濃図書館
内容 キャラバンカーの見学と、よみきかせ
対象 2~8歳(年少~小学2年生)

参加費 無料
申込先 津市安濃図書館(059-268-5822)
8月20日(日)から受け付け。(当日参加も可)
問い合わせ先 059-268-0701(やまびこ会:吉岡)

ボランティアグループ「やまびこ会」では、毎月第4土曜日、14:00~15:00まで津市安濃図書館にて、「よみきかせ会」をしています。おおきな本もよみます。みんなで「よみきかせ」にきてくださいね！

美里ボランティアセンターからのお知らせ 美里地区ボランティア連絡会設立

平成18年7月12日(水)美里町でボランティア活動を行っているグループ・個人がそれぞれのボランティア活動を通して、地域福祉を増進し安心して暮らせるまちづくりの実現を目的に美里地区ボランティア連絡会を設立されました。

野澤雪言会長は就任挨拶で、「美里町で活動するボランティアがお互いに連絡調整できるようにし、連携を強め、ますます美里町でのボランティア活動を活発にしていきたい。」と抱負を述べられました。

同会は、15のグループと個人で構成され、今後の活動が期待されています。



一志ボランティアセンターからのお知らせ

ボランティア体験講座 「絵点字カード・絵点字絵本体験」

ボランティア「ジャンボの会」の協力で絵点字・絵本の制作を楽しみながら行います。ほんの色塗りもありますので、思いを込めて制作してください・・・

(体験での点訳作品をアフリカへ送ります)

日時 9月1日(金)11日(月)
午前9時30分~12時

場所 津市とことめの里一志
健康教育室

対象 高校生以上の方

定員 申込順で 先着20名です



美杉ボランティアセンターからのお知らせ

ボランティア体験講座生募集！ 『守ろう、みんなの清流』

美しい清流は今や、どこにでもあるものではなくなりました。きれいな風景の中でのボランティア・・・『こころの洗濯』しにきてください。

日時: 8月26日(土) 13:00から

会場: 津市美杉高齢者生活福祉センター

対象: ボランティアに関心のある方

内容: 「ほたるを守る会」との交流
清流を守る活動など

申込・問合せは美杉支部まで



274-0023

香良洲ボランティアセンターからのお知らせ

香良洲町ボランティア連絡協議会 「交通安全講話会」開催



- *日時 平成18年9月7日(木)13:30~
- *場所 サンデルタ香良洲「すこやかルーム」
- *講師 三重県津南警察署 交通課
交通総務係長 奥休場 規史 氏
- *テーマ 「高齢者の交通事故防止について」
- *参加対象者 ボラ連協会員、ボランティアに関心のある方、一般住民
- *その他 参加者全員に交通安全グッズ進呈

白山ボランティアセンターからのお知らせ

ちびっこ魚つかみ大会 イベントボランティア募集!!!

例年大好評の“ちびっこ魚つかみ大会”
魚つかみや流しそうめん、宝さがしにすいか割り
と楽しい企画がいっぱいです。

そこで、イベント準備や子どもたちの見守りなど
お手伝いいただくボランティアさんを募集しています。
学生の方大歓迎です

日時...8月26日(土) 9:00~14:30

場所...わかすぎの里

主催...白山地区社会福祉協議会

現地地図や詳細については、後日ご案内します。

お問い合わせ

白山地区社会福祉協議会(担当 川井)

電話番号 262-1892



情報発信

しませんか?

ぼらん津の「地域の情報」の欄から、情報発信してみませんか?

ボランティアグループのメンバー募集、イベント開催のお知らせやボランティアの募集など、様々な内容を掲載させていただくことができます。

みなさんがつくるボランティア情報欄です。たくさんのお情報をお寄せください!

詳しくは、お近くのボランティアセンター(津市社会福祉協議会各支部)にお問い合わせください。

去る7月15日・22日、8月5日の三日間、市内3会場にて津市民ボランティアスクール基礎講座を開催いたしました。

各会場合わせて109名の方が参加され、ボランティアについての講義や地域のボランティア紹介、車いす体験実習などを熱心に受講されました。

受講された皆さんの今後のご活躍を期待しています！



知っというて 地域で守ろう、子どもたち

全国各地で起きた子どもたちに関係する痛ましい事件をうけて、子どもの安全と健全育成は緊急の課題となっています。

そのため、学校やPTAといった関係団体だけでなく、ボランティア活動で子どもたちを守ろうという動きが次々と生まれてきています。

活動する仲間をつくる

活動を長く続けるためにも、危険から身を守るためにも、仲間づくりは大切です。

ついでに行く

犬の散歩やジョギングの時間を登下校時に合わせて行うだけで、ボランティア活動になります。

効果は見えない

『犯罪がない』のが当たり前です。効果が見えなくても続けることが重要です。

見せ付ける事が効果的

子どもが地域で守られていることを見せる事が効果的です。防犯活動中であることをアピールしたり、あいさつをしたりすることが大切です。

地域で子どもを守る方法は、地域の事情などによって様々であると思いますが、参考になると思われるポイントをいくつかご紹介します。

皆さんの地域では、子どもの安全、守れていますか？

ボランティア活動における心得 災害時編

阪神・淡路大震災依頼、大災害の度に「何か力になりたい！」とボランティアが被災地に駆けつけ、その熱意あふれた支援活動は多くの被災者の支えとなりました。

しかし一方で、思いが強いゆえ、被災住民の気持ちやおかれた環境が見えなくなり、かえって被災者に負担をかけてしまった例も少なくありません。

大規模災害時におけるボランティア活動についての注意点を、今一度確認してみましょう。

次の内容は「困ったボランティア」事例の一部です。

- ・被災者の思い出の写真をゴミだと思って捨てた
- ・「絶対助ける」と帰らないボランティア
- ・「ボランティアに来たのに昼食もないのか」と怒鳴る
- ・救援物資として、必要のないものまで送りつける。

主役は、被災者です！！現地のボランティア受入機関の言う事をよく聞いて、被災者の立場を考えて活動することが重要です。

入ってますか？

ボランティア活動保険

「ボランティア活動保険」は日本国内のボランティア活動中におこる様々な事故からボランティアの方々を補償する保険です。

日本国内における「自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動」で社会福祉協議会に登録されたものである活動を、加入年度内について保障します。

他にもボランティアグループが主催する行事を補償対象とする『ボランティア行事用保険』もあります。

詳しくは、津市社会福祉協議会各支部（ボランティアセンター）へお問い合わせください。



本紙は赤い羽根共同募金の配分金を活用しています。